

## (世界史)

〔I〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

9世紀半ばから、モンゴル高原には統一政権が生まれず、諸集団が割拠する状態にあった。12世紀後半にモンゴル部という小さな部族に生まれたテムジンは、早くに父親を殺され、不遇の幼少期を送っていた。やがて頭角を現したテムジンは、有力だったケレイト部、ナイマン部、メルキト部といった部族を破り、1205年までにモンゴル高原をほぼ統一し、1206年に君主に推戴されてチンギス=カン<sup>(a)</sup> (ハン)となり、大モンゴル国(モンゴル帝国)の歴史が始まった。

チンギス=カンは幾多の遠征を通じて短期間に大帝国を築いていったが、まず1211年から四回にわたって自ら金に遠征し、1215年には中都を陥落させ、金を黄河以南の地に後退させた。西方では、1218年に中央アジアに逃れたナイマン部の残存勢力を打ち倒し、翌年にはその西のホラズム=シャー朝に対して自ら遠征し、1220年にはこれを滅ぼした。チンギス=カンはさらに逃亡したホラズム=シャー朝の君主や残存勢力を追って西へと軍を進め、遠征軍はアフガニスタン、インドス河畔、南ロシアにまで及んだ。1225年にモンゴルに帰還すると、翌年にはホラズム遠征への参加を拒否した西夏に対し遠征し、ほぼこれを壊滅させたが、1227年、西夏王が投降する三日前に、チンギス=カンは亡くなった。

跡を継いだオゴデイ(オゴタイ)は、1234年に金を滅ぼすと、1236年には南宋攻撃とバトゥ<sup>(b)</sup>による西征を開始した。しかし1241年にオゴデイが死亡すると、両遠征<sup>(2)</sup>はともに終了した。

1246年にオゴデイの息子のグユク<sup>(3)</sup>がカアンに即位したが、わずか一年半ほどで亡くなり、1251年にモンケ<sup>(4)</sup>が即位することになった。モンケは1252年に弟のクビライ(フビライ)に雲南<sup>(5)</sup>への遠征を命じ、1253年にフレグ(フラグ)にイラン以西への遠征を命じた。そして1256年にモンケは自ら南宋遠征に乗り出したが、1259年に陣中で没することになった。

ともに遠征に参加していたクビライは、東方にあった勢力をまとめ上げること

に成功し、1260年に内モンゴルの自らの本拠地に自派の有力者を集めてカアンへの即位を宣言した。これに対し、モンゴル本土にいた弟のアリクブケはモンゴル本土と西方の有力者の支持を得てカアンへの即位を宣言し、両者の間でカアン位をめぐる戦争が開始された。モンケからの継承の正統性という点ではアリクブケに分があったものの、兵力でも経済力でもクビライが有利であり、1264年には勝利が決することになった。クビライは実力で大モンゴル国のカアンとなったのだが、実際にクビライが勢力下に収められたのは帝国の東側だけであった。西側にはいわゆるキプチャク=ハン国、イル=ハン国、チャガタイ=ハン国となる勢力があり、カイドウ(ハイドウ)も大きな力を持ち、クビライとの間で激しい戦争を繰り広げていた。この戦争は1305年まで続いたが、それはクビライの死から11年後のことであり、クビライは最後まで帝国の西側を支配するカアンとはなれなかったのである。こうして大モンゴル国は「分裂」や「多元化」といわれる様相を呈するようになった。

クビライは、その力の大きな源が漢地から得られる経済力と人材であったため、より東方、すなわち漢地へと傾斜していくことになった。そのことは即位とともに中華風の元号を採用したことや現在の北京に大都を建設したこと、「元」を国号としたことから伺える。そしてその姿勢がより強く打ち出されたのが南宋遠征であり、1276年についてこれを滅ぼし、唐以来、長く実現することのなかった中華世界の統一を成し遂げたのであった。

その後、クビライの東方への拡大志向は日本や東南アジアへの遠征にもつながっていったが、一方、運河<sup>(6)</sup>や海運<sup>(c)</sup>を利用して長江以南と大都とを結び、さらに海路・陸路によって西方世界との交易を盛んにすることで、大都を中心とした世界的なネットワークが形成されるようになった。元の時代を代表する染付<sup>(7)</sup>と呼ばれる磁器が各地に広まっていることは、まさにその象徴と言える。また、元曲<sup>(8)</sup>のような庶民文化が隆盛を見せたのも、こうした当時の商業の活況と無縁ではなかったのではないだろうか。

ただ、東西の交通が盛んになったのは元においてだけでなかった。それ以前からモンゴルの支配下では駅伝制<sup>(d)</sup>が整えられていた。その頃にはプラノ=カルピニ<sup>(9)</sup>、ルブルック<sup>(d)</sup>といった修道士たちも往来しており、それはマルコ=ポーロ<sup>(9)</sup>やイブン=バットゥータ<sup>(10)</sup>、モンテ=コルヴィノ<sup>(11)</sup>の先駆けをなすものでもあった。<sup>(12)</sup>

世界史

問1 下線部(1)に関連して、中央アジアに逃れたナイマン部の王子によって1211年に王位を奪われて、実質的に滅亡することになった国として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ウイグル
- イ ガズナ朝
- ウ カラキタイ(西遼)
- エ カラハン朝

問2 下線部(2)に関連して、バトゥの生まれた家として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア オゴデイ家
- イ ジョチ(ジュチ)家
- ウ チャガタイ家
- エ トウルイ家

問3 下線部(3)に関連して、2023年にモンゴルを訪問したローマ教皇フランシスコは、ヴァチカンに所蔵されているグユクが教皇に宛てた書簡の複製をモンゴルの大統領に贈呈した。その書簡については、ウイグル文字によるモンゴル語(モンゴル文字)の印章が捺されていることが知られているが、文字の系譜の上でウイグル文字と関係のある文字はア～エのうちいくつあるか。その合計数を解答欄にマークせよ。

- ア アラム文字
- イ ソグド文字
- ウ パクパ(パスパ)文字
- エ 満州文字

問4 下線部(4)に関連して、モンケの生まれた家として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア オゴデイ家
- イ ジョチ(ジュチ)家
- ウ チャガタイ家
- エ トウルイ家

問5 下線部(5)に関連して、クビライによって滅ぼされた雲南の国として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大理
- イ 南越
- ウ 南詔
- エ 扶南

世界史

問6 下線部(6)に関連して、元代の運河の整備に大きく貢献した人物に郭守敬がいるが、郭守敬に関する記述として適切なものはア～エのうちいくつあるか。その合計数を解答欄にマークせよ。

- ア 郭守敬の作った暦は室町時代の日本で作られた貞享暦に影響を与えた。
- イ 郭守敬は翻訳を通じて西方の優れた数学や天文学を中国世界に紹介した。
- ウ 郭守敬の作った暦は清代にマテオ=リッチが時憲暦を作るまで使用された。
- エ 郭守敬はキリスト教の修道士から天文学を学び、正確な暦の作成に成功した。

問7 下線部(7)に関連して、元代の染付に関する記述として適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 染付は景德鎮で盛んに作られた。
- イ 染付は中国では青花とも呼ばれた。
- ウ 染付のコバルトの顔料は西方からもたらされた。
- エ 染付はコバルトブルーの絵が描かれた青磁である。

問8 下線部(8)に関連して、王実甫によって書かれた元曲として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 漢宮秋
- イ 西廂記
- ウ 水滸伝
- エ 琵琶記

問9 下線部(9)に関連して、プラノ=カルピニが属した修道会として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア シトー修道会
- イ ドミニコ修道会
- ウ フランチェスコ修道会
- エ ベネディクト修道会

問10 下線部(a)に関連して、ルブルックをモンゴルに派遣した人物として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア インノケンティウス3世
- イ インノケンティウス4世
- ウ フリードリヒ2世
- エ ルイ9世

問11 下線部(b)に関連して、マルコ=ポーロの出身地と一般に考えられている場所として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ヴェネツィア
- イ ジェノヴァ
- ウ ピサ
- エ フィレンツェ

問12 下線部(c)に関連して、モンテ=コルヴィノに関する記述として適切なものはア～エのうちいくつあるか。その合計数を解答欄にマークせよ。

2

- ア モンテ=コルヴィノは大都の初代大司教となった。
- イ モンテ=コルヴィノは帰国することなく、元で没した。
- ウ モンテ=コルヴィノは中央アジアを経由して陸路で元に至った。
- エ モンテ=コルヴィノの旅行記はヨーロッパで多くの人に読まれた。

問13 下線部(d)に関連して、有力者を集めて君主の選出などの重要事項を話し合ったモンゴルの最高議決機関は何か。その名称を解答欄にカタカナで記入せよ。

カハルタイル

問14 下線部(e)に関連して、オゴダイ(オゴタイ)によりモンゴル高原に造られた首都の名称は何か。その名称を解答欄にカタカナで記入せよ。

カフクリ

問15 下線部(f)に関連して、元の時代に南海交易で栄え、マルコ=ポーロによりザイトンと呼ばれた町はどこか。その名称を解答欄に漢字で記入せよ。

△

泉州 or 杭州  
フニヤン

問16 下線部(d)に関連して、大モンゴル国の支配下で設けられた駅伝制は、漢字で「站赤」と書かれたが、モンゴル語では何と呼ばれたか。その名称を解答欄にカタカナで記入せよ。

チカク

## 〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

アラン＝ピンカートン(1819-1884)はアメリカ合衆国の警備業の形成を主導した人物といわれる。しかし、その手法や方針には批判が付きまとった。というのも、ピンカートンが設立した探偵社は連邦政府に警察機構が整備される以前のアメリカ合衆国で、私的警察や秘密諜報機関の役割をはたすと同時に、労働者のストライキを暴力的に弾圧したからである。ピンカートンの探偵社のような私的探偵・警備の事業が拡大していった背景には、19世紀後半のアメリカ合衆国における自由放任主義に基づく資本主義経済の急速な発展があった。この大きな時代のうねりの中で、ピンカートン自身も変容していく。

ピンカートンは1819年にイギリスのグラスゴーで生まれた。幼くして父親を亡くしたピンカートンは、家族を支えるために樽職人となり、朝から晩まで働き続けた。そんなピンカートンが関心を寄せたのが、人民憲章を政治綱領として参政権獲得を目指していた運動であった。しかし、この運動の活動家として警察に目をつけられたピンカートンは、1842年、妻と共に北米に逃れ、知り合いの紹介でシカゴの醸造所で樽職人として働き始める。その後、ピンカートンはシカゴの郊外に自身の樽製造所を設立した。彼の工場は南部から逃れてきた黒人奴隷のための支援の拠点の一つになっていく。ピンカートンは奴隷制廃止運動の支持者であり、彼が新たに設立した探偵社は運動の支援に一役買ったといわれている。

ピンカートンが探偵業を開始した頃のアメリカ合衆国は、鉄道網の拡張により国内市場が広がり産業革命が進展していた時期であった。一方、鉄道会社は鉄道強盗や故意による脱線事故に頻繁に悩まされていた。そこで鉄道会社が目をつけたのが、ピンカートンの探偵社であった。1850年代にイリノイ中央鉄道と警備業務の契約を結んだのを皮切りに、鉄道の敷設・延伸とともにピンカートンの事業は拡大していった。最初のイリノイ中央鉄道との契約において法律顧問を務めたのがリンカンであった。のちに、ピンカートン探偵社は鉄道会社から依頼を受けた調査活動で入手した情報により、大統領就任前のリンカンの暗殺計画を未然に防いでいる。こうした功績もあってか、南北戦争中、ピンカートン探偵社は南部諸州での軍事情報の諜報活動にあたっている。

南北戦争後、ピンカートン探偵社の事業はさらに拡大していった。西部開拓により拡大した領土では土地投機熱が高まり、無法者のギャング団による強盗などの犯罪行為が頻発した。こうしたギャング団の取り締まりをピンカートン探偵社は一手に引き受けた。さらにこの時期、アメリカ合衆国では電力や石油をエネルギーとする第二次産業革命が進み、重化学工業が急速に発展した。しかし、この発展の裏には低賃金で長時間労働を強いられ、貧困にあえぐ労働者とその家族があった。こうした労働者階級の窮状を改善するために各地で労働組合が組織された。また状況に応じて労働者たちはストライキを実施した。

南北戦争後、ニューヨークとフィラデルフィアに支店を開設していたピンカートン探偵社は、資本家からの依頼を受け、労働組合潰しに乗り出していく。1870年代には、フィラデルフィアの鉄道会社の社長の依頼で、この会社が所有する鉱山で働くアイルランド系アメリカ人の炭鉱労働者で組織される秘密結社に潜入し、この組織を壊滅に追いやった。この事件は、アーサー＝コナン＝ドイルのシャーロック＝ホームズ譚『恐怖の谷』の着想につながったともいわれている。1884年にピンカートンは亡くなるが、その後もピンカートン探偵社の労働組合への介入や弾圧は続いた。同社の暴力的な労働運動の弾圧は新聞でも広く取り上げられ、ピンカートン探偵社に対する批判は高まっていった。とりわけ、1892年のカーネギー製鋼会社の工場での過酷なストライキ弾圧は、全米で議論を巻き起こした。連邦議会もようやくピンカートン探偵社への取り締まりに着手し始める。時代は革新主義期へと移行していた。この時期、世論の高まりを受け、19世紀後半の自由放任の原理のもとで出現した独占資本に対する規制や、著しい貧富の格差に対する是正が求められた。こうした変化の中でピンカートン探偵社の全盛期は終わりを迎えていく。

問1 下線部(1)に関連して、アメリカ合衆国の連邦制に関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 合衆国憲法では連邦主義をとりつつも、連邦政府の権限は租税のみとし、それ以外は諸邦(州)の権限とした。

イ 憲法草案に反対した反連邦派の人々は、諸邦(州)の自治権や権限の維持を主張し、主に農業的利益を重視した。

ウ アメリカ連邦議会は、イギリス議会を手本にして設置されたもので、13植民地それぞれに組織された。

エ 連邦政府の権限強化を主張して憲法草案を支持した連邦派の中心の一人が、トマス=ジェファソンであった。

問2 下線部(2)に関連して、北アメリカの奴隷に関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 憲法修正が多くの州に批准され、奴隷制は南北戦争中に正式に廃止された。

イ ホイットニーによる綿織り機の発明により南部の綿花生産高が増加し、南部の黒人奴隷の数も増加した。

ウ ヨーロッパの商人によってアフリカから運ばれた黒人奴隷の数は、ブラジルやカリブ海地域より北アメリカの方が多かった。

エ 北アメリカでは1619年にマサチューセッツ植民地に黒人奴隷がもたらされ、やがてアメリカ南部では白人の年季奉公人にとってかわった。

1550 妥協 11261  
↓  
1800~

問3 下線部(3)に関連して、鉄道開発に関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 東シベリア総督であったムラヴィヨフはフランス資本を積極的に導入して、シベリア鉄道の建設を進めた。

イ イギリスでは、安価に大量輸送できる交通手段として運河の建設が進んでいたが、19世紀半ばからは鉄道が運河にとってかわった。

ウ 1860年代は、ドイツ・フランス・イタリアなどで蒸気機関車の営業運転が開始されたことから、鉄道時代の始まりといわれている。

エ 1869年に開通した大陸横断鉄道の建設には、ジャクソン大統領が制定した法律でミシシッピ川以西に強制的に移住させられたクーリーが使われた。

問4 下線部(4)に関連して、19世紀前半の産業革命の波及に関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ベルギーではオランダへの併合を通じて産業革命が波及した。

イ フランスでは七月革命で成立した立憲王政下で産業革命が進行した。

ウ ロシアでは農奴解放令により農民が工場労働者となり産業革命が進行した。

エ ドイツではドイツ関税同盟が発足し、オーストリアを含めた自由貿易体制のもと産業革命が進行した。

問5 下線部(5)に関連して、リンカン大統領が行ったことに関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア カンザス・ネブラスカ法を制定した。

イ ゲティスバーグ追悼式典で、「最大多数の最大幸福」を唱えた。

ウ 奴隷解放には積極的ではなかったが、南北戦争終結後、奴隷解放宣言を出した。

エ 奴隷解放宣言を発表したが、すべての州と地域の黒人奴隷が対象になったわけではなかった。

トリス (7-11) 10-17

世界史

問6 下線部(6)に関連して、第二次産業革命が始まった1870年代にアメリカ合衆国で起こったことに関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ベルが電話機を発明した。
- イ ジーメンスが発電機を発明した。
- ウ ライト兄弟が動力飛行機の飛行に成功した。
- エ ダイムラーが自動車エンジンの原型となる内燃機関を発明した。

問7 下線部(7)に関連して、第二次世界大戦以前の独占資本に関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 民族資本は独占資本の一形態である。
- イ ドイツのクルップ社は独占資本の一形態を示す存在であった。
- ウ イギリスの独占資本は特権的なマニユファクチュアによって形成された。
- エ ゴールドラッシュにより生まれた金融資本はカルテルにより金の市場を独占した。

問8 下線部(a)に関連して、自由放任主義を重んじる経済思想に重農主義があるが、『経済表』を著した、重農主義の祖ともいわれる人物は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

リッ

問9 下線部(b)に関連して、この運動は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

ムーサー運動

問10 下線部(c)に関連して、南北戦争中にリンカンが公布した自営農民育成を目的とする法律で、西部農民の北軍支持と戦後の西部開拓に貢献したといわれる法律は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

モーリス

問11 下線部(d)に関連して、イギリスの社会主義者で、全国労働組合大連合の結成に尽力したり、労働者の生活環境と労働条件の改善に意を払った工場経営を行ったりした人物は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

問12 下線部(e)に関連して、1870年にアメリカ合衆国でスタンダード石油を創設した人物は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

ロックフェラー (1世)

問13 下線部(f)に関連して、アイルランド系アメリカ人にも支援者や活動家がいたとされるアイルランドの民族主義政党で、アイルランドの完全独立を求め、1916年のイースター蜂起後の独立運動を主導した政党は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

シン・フェイク

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

1914年7月(以下、グレゴリウス暦による)にオーストリアが **ア** に宣戦布告し、これを契機として第一次世界大戦が始まると、ロシアは連合国の一員としてこれに参戦した。8月には、東部プロイセンで現在のポーランドの北東部に位置する **イ** において **A** の率いるドイツ軍に大敗を喫したものの、ガリツィア方面やポーランド方面では攻勢を保った。しかし、次第に兵員や軍需物資の補給に苦しむことになり、士気も低下し、1915年7月にはいわゆる「大撤退」に追い込まれた。戦闘の大規模化と長期化を受けて、ロシアは総力戦体制の維持に苦しむことになった。とりわけ鉄が兵器生産に優先的につぎ込まれたことで、鉄道の維持・発展が阻害され、ロシア国内での食糧の輸送に深刻な影響を与えることになった。そして1916年6月からはガリツィア方面での攻勢のために後方の社会から物資が略奪的に動員され、さらに冬に入ると大雪のために食糧の輸送が困難となり、社会における食糧不足は極めて深刻な状態に至った。このような状況に不満を抱えた労働者によって、1917年3月に当時の首都である **ウ** で大規模なストとデモが発生した。このストとデモは大規模な暴動へと発展し、<sup>(1)</sup>鎮圧を拒否した兵士も加わり、労働者と兵士によるソヴィエトが組織されることになった。

このような動向に対して、国会(ドゥーマ)のなかの自由主義派を中心としてドゥーマ臨時委員会が立ち上げられ、この臨時委員会が官僚と将校を掌握するようになった。帝政の維持はいよいよ困難な情勢となり、ついにニコライ2世が退位して帝政に終止符が打たれると、ドゥーマ臨時委員会により<sup>(2)</sup>臨時政府が樹立された。臨時政府は、<sup>(3)</sup>メンシェヴィキや社会革命党が多数を占めたソヴィエトの支持も取り付けつつ、<sup>(4)</sup>彼らの意見を取り込んで、いくつかの政策を実施に移していった。

当時、ボリシェヴィキはソヴィエト内では少数派であった。このボリシェヴィキを亡命先の **エ** から帰国したレーニンが指導した。レーニンは同年4月に、彼の考えをまとめて<sup>(5)</sup>四月テーゼとして公表した。

一方、5月には臨時政府の外交政策などへの不満から兵士と労働者による大規

模なデモが発生し、四月危機と呼ばれる事態に至った。これを受けて、臨時政府は司法相であった社会革命党の **B** らの主張により、ソヴィエトの主流派を入閣させる連立政権を成立させたが、7月にはまた兵士と労働者による武装デモが起きた。その対応をめぐって首相と司法相が辞任すると、陸相であった **B** が新たに首相となった。しかし、すぐに軍の最高司令官で軍事独裁を志向していたコルニーロフによるクーデターに直面することになった。連立政権は、ボリシェヴィキの力を借りることで、これを鎮圧することに成功したが、このことが結果的にボリシェヴィキの力を強めることにつながった。

11月にはレーニンと **C** を中心とするボリシェヴィキが武装蜂起し、臨時政府を倒し、政権を樹立した。この政権では人民委員会が臨時の政府とされ、レーニンがその議長、**C** が外務人民委員となった。レーニンは「平和に関する布告」や「土地に関する布告」などを発表し、これは全ロシア=ソヴィエト大会で採択された。<sup>(6)</sup>

しかし、臨時政府が成立時から掲げながら引き延ばしにしてきた **D** 会議のための選挙が11月に全国で普通選挙によって行われると、得票率は社会革命党が40%で第一党となり、ボリシェヴィキは24%にとどまった。そして1918年1月に同会議が開催されると、ボリシェヴィキの意向が無視されたため、開会の翌日、レーニンはソヴィエト中央執行委員会の命で同会議を解散させ、ボリシェヴィキと社会革命党左派による政権を確立させた。

この政権は、対外的には1918年3月に<sup>(7)</sup>ブレスト=リトフスク条約を締結したが、社会革命党左派がこれに反対して人民委員会から離脱したため、ボリシェヴィキの単独政権に移行した。同月、ボリシェヴィキはロシア共産党に改名したが、5月以降、様々な反対勢力が各地で反乱を起こし<sup>(8)</sup>内戦となった。さらに外国軍による対ソ干渉戦争にも対応を迫られ、これらの終結には何年もの月日を要することになったが、その間にメンシェヴィキや社会革命党といった敵対する党派を非合法化し、共産党による独裁体制の確立に成功した。

問1 下線部(1)に関連して、このストとデモに関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア このストとデモでは、当初の問題であった食料不足の解決だけでなく、専制政治の打倒も主張された。
- イ このストとデモでは、連合国の一員として、戦争への勝利を目指し、総力戦を継続することが主張された。
- ウ このストとデモによって、ロシアではソヴィエトによる都市部への食糧配給制度が確立され、食料問題は解決された。
- エ 当初は都市部への食糧不足に対する女性労働者の不満から始まったが、それが女性参政権運動へと発展することで、ストとデモが大規模化した。

問2 下線部(2)に関連して、ニコライ2世の在位中に起こった出来事として適切なものはア～エのうちいくつあるか。その合計数を解答欄にマークせよ。

- ア 十月宣言
- イ ドゥーマの創設
- ウ 日露協約の締結
- エ 立憲民主党の結成

問3 下線部(3)に関連して、この臨時政府に関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ニコライ2世が退位すると、臨時政府は家族とともにニコライ2世を処刑した。
- イ ブルジョワ政党であった立憲民主党はストに反対し、臨時政府には加わらなかった。
- ウ 臨時政府の樹立にあたって、ストルイピンにも入閣が要請されたが、ストルイピンはこれを拒否した。
- エ 臨時政府は、一部の反対にもかかわらず、イギリスやフランスとの関係を重視し、戦争の継続を決定した。

問4 下線部(4)に関連して、メンシェヴィキに関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 当初、メンシェヴィキにはレーニンが所属していたが、彼の亡命後、ブレハーノフが指導者となった。
- イ メンシェヴィキという言葉はロシア語で多数派を意味していたが、のちに少数派に転落することになった。
- ウ メンシェヴィキは、資本主義的な考え方を一切認めずに、マルクス主義を掲げ、社会主義政権の確立を目指した。
- エ メンシェヴィキは、社会民主労働党が分裂してできた一派であり、ボリシェヴィキに比べ、より広く大衆に基礎を置くことを志向した。

問5 下線部(5)に関連して、四月テーゼに関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア このテーゼの中で、レーニンは全ての権力をソヴィエトに集中させることを主張した。
- イ このテーゼの中で、レーニンは貴族階級と労働者階級の協力が必要であることを主張した。
- ウ このテーゼの中で、レーニンは全労働者による選挙に基づく議会制民主主義を目指すことを主張した。
- エ このテーゼの中で、レーニンは戦争を乗り切るために、臨時政府との協力を模索することを主張した。

問6 下線部(6)に関連して、以下は「平和に関する布告」についての説明であるが、その文中の空欄 1 と 2 に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

この布告は、連合国と同盟国の全ての政府またその国民に対して、即時の講和をよびかけるものであり、講和は原則的に、無併合、無償金および 1 に基づくことが主張された。しかし連合国はこの布告を無視し、その結果、ロシア帝国が関わった 2 などの秘密外交がレーニン政権によって暴露されることになった。

〔語群〕

- ア サイクス・ピコ協定
- イ 植民地放棄
- ウ フセイン・マクマホン協定
- エ 民族自決
- オ 民族独立
- カ ロンドン秘密条約

問7 下線部(7)に関連して、ブレスト=リトフスク条約に関する記述として最も適切なものを、ア~エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア  ブレスト=リトフスク条約によって、フィンランドがロシアから独立した。
- イ  ブレスト=リトフスク条約はドイツとソヴィエト政権の二者間での講和条約であった。
- ウ  ブレスト=リトフスク条約によって、ドイツは賠償金の支払い義務を負うことになった。
- エ  ブレスト=リトフスク条約によって、ソヴィエト政権はポーランドにおける領土を失った。

問8 下線部(8)に関連して、この内戦に関する記述として最も適切なものを、ア~エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア  この内戦はポーランド軍団による反乱を機に開始された。
- イ  イギリス、フランスは反革命軍に資金的な援助を行っていた。
- ウ  都市の労働者を主力とする反革命軍と農民を主力とする革命政府軍の戦いであった。
- エ  反革命軍は白ロシア(ベラルーシ)を最大の根拠地としていたため、白軍と呼ばれた。

問9 文中の空欄 ア ~ エ に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- 1 アメリカ
- 2 イープル
- 3 イタリア
- 4 ヴェルダン
- 5 ウクライナ
- 6 オーストリア
- 7 サライエヴォ
- 8  スイス
- 9  セルビア
- 10 ソンム
- 11  タンネンベルク
- 12 フィンランド
- 13  ペトログラード
- 14 ベラルーシ
- 15 モスクワ

問10 文中の空欄 A に入るドイツ軍の司令官として最も適切な人物の名前を解答欄に記入せよ。

ヒンデナブルグ

問11 文中の空欄 B に入る最も適切な人物の名前を解答欄に記入せよ。

ケルニスター

問12 文中の空欄 C に入る最も適切な人物の名前を解答欄に記入せよ。

トロツキ

問13 文中の空欄 D に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

憲法制定